

Day

1

タイトル

4. モロッコの知見と経験の共有  
(4) 国家都市廃棄物処理戦略策定プロジェクトの要旨

発表者

内務省水衛生局サービス課 課長 Fouad Zakari

要約

発表者は、廃棄物処理およびリサイクル戦略に関して、法的枠組み、優れたガバナンスと評価、モニタリングの3つの側面を強調した。法的枠組みの中心である法律および廃棄物管理のための国家計画(PNDM)は、リサイクルシステムを構築し、20%のリサイクル率を達成することを目指している。それは3Rの実施を意味しているものの、実施に当たっては、3Rに関する地方自治体の乏しい経験、モロッコの異なる地域の廃棄物特性の多様性、インフォーマル・セクターの存在などといった課題に直面している。

これらの問題を解決するために、モロッコ各地域の特性を考慮した廃棄物処理・回収のための国家戦略を策定する必要があり、そのための協力要請が日本政府に提出された。そして、この目的を達成するためにガイドラインとその作業方法が作成・開発された。

参加者からは、異なるステークホルダー間の調整や所管の重複をどのように克服したかについて質問がなされた。これに対し、発表者は、首相が議長を務める調整機能をもつ省庁間委員会があり、定期的な情報共有や重複を避けるためにミーティングが開催されていると説明した。財源に関する質問に対しては、発表者は、州によって配分された予算と一般世帯によって支払われた市税で賄っていると説明した。土地の取得に関する質問に対しては、発表者は、地方選出公務員、協会、土地所有者などと補償に係る協議をしたり、公共目的のために土地収用を図るといった方法がとられていると説明した。